



▼ 地域の防災力の要 「多久市消防団」

それぞれの仕事を持ちながら、火災・風水害などの出動や警戒巡視、行方不明者捜索など多岐にわたる活動を担う多久市消防団。地域の消防組織として活躍し、団員は消防車両やポンプの操作点検、土のうの作成、訓練大会への出場、防火演習などに励み、万全の備えをしています。

本部に加え、5つの分団を設置。本部には女性部もあり、1人暮らしの高齢者宅に防火指導のため訪問したり、火災現場でけがをした人の介助をしたりと活躍をみせています。



Check!

平成30年(2018年)に結成したドローン隊は、消防団独自の隊としては全国でも稀。火災時の現場の状況把握や行方不明者を捜索する際に欠かせない存在です。



みんなと共につくる 安心安全な地域

防災と防犯は、長く生活していくうえで欠かせないもの。
多久市ではしっかりとした体制を整え、市民のみなさんの協力のもと、安心して暮らせる地域づくりを進めています。

▼ 安全なまちづくりをめざします

佐賀県警察本部がホームページ上で公表している「犯罪発生マップ～あなたの街は大丈夫!?～」によると、令和に入り多久市の犯罪率は県内でも低く保たれています。これは、市民のみなさまの高い防犯意識のあらわれだと思います。
これからも地域のみなさまの互いの見守りと犯罪を起こさせないという強い意志のもと市全体で安心安全な街づくりに取り組みます。

防犯灯や 防犯カメラの設置



防犯灯設置や、市内各施設への防犯カメラの設置により、防犯効果を高めます。



熱い使命感で多久市を守る

多久市消防団では、団員350人が力を合わせて活動しています。30年以上消防団活動が続けるうち、普段はなかなか知り合えないさまざまな年代・職種の人たちとの貴重なご縁もできました。訓練や現場での活動は決して楽ではありませんが、地域のみなさんの期待や感謝を数多く受けられます。その度に充実した思いで満たされることが出来ます。これからも地域の先頭に立ち、地域の防災に尽力します。

多久市消防団 まつおかしんいち
団長 松岡 伸一さん

多久市消防団	定数 350人
本部	20人
東多久分団	75人
南多久分団	60人
多久分団	60人
西多久分団	55人
北多久分団	80人

▼ 交通安全啓発

交通ルールの遵守と交通マナーの向上のため、交通安全県民運動ではドライバーや歩行者に対しチラシや啓発物を配布することで交通安全意識の向上を図っています。また、幼児交通教室では就学前の子どもたちに道路の歩き方や横断の仕方などの交通ルールを指導し、交通事故の防止に取り組んでいます。

